

こいのぼりで  
元気な地域づくり  
事業報告

◆遊子川小学校の閉校

私たち地域の教育文化のシンボルでもあった西予市（旧城川町）立遊子川小学校が、平成28年3月31日をもって閉校となりました。明治8年「白岩小学校」「龍城小学校」が地域に閉校され、以来141年、たくさんの子どもたちが巣立っていきました。そうした地域住民に親しまれた小学校が閉校になると聞いたとき、少子高齢化の波の中にあつて仕方がないと理解しながらも寂しい思いでいっぱい、地域住民の心のなかにまで「過疎」が広がるのが懸念されました。

◆地域総ぐるみの最後の運動会

遊子川地域の最大の行事といえば、遊子川地区合同大運動会です。遊子川小学校では、児童数の減少から学校単独での運動会開催が難しく、長年、地区運動会との合同開催としてきました。プログラムも児童の部と大人の部を交えつつ、児童と大人が一緒になって競い合う競技など種目とする工夫をこらした内容となっています。

そうしたこともあり、運動会は地域住

心のなかでいつまでも泳げ！こいのぼり  
～遊子川小学校の思い出によせて～

民が集い交流する一大イベントとして、地域住民から毎年楽しみにされてきました。その運動会も今の形での開催が最後となるため、地域みんなで盛り上げ、子どもにとつても大人にとつても思い出深い運動会にしようと思ひ立ちました。

◆こいのぼりを泳がせる

最後の運動会をどのように盛り上げるか相談した結果、子どもたちの健やかな成長を地域のみんなで祈念して、子どもたちが自由に描いたこいのぼりを泳がせることとなりました。こいのぼりの作成に先立ち、子どもがどのようなデザインにするかを考え、大人はこいのぼりの色付に適した染料や絵の具を試行するなど準備を進め、小学校の夏休み期間中に何度も遊子川公民館に集まってこいのぼりを完成しました。



オリジナルこいのぼりの製作

（西予市）  
奥伊予ゆすかわ塾  
塾長  
富永 武仁



地区合同大運動会当日は、絶好の運動会日和に恵まれました。子ども一人ひとりがデザインしたオリジナルこいのぼりを万国旗とともに掲げると、子どもたちの歓声のなか、こいのぼりが本当に気持ちよさそうに泳ぎ出しました。地域の方々も、自身の学び舎であった遊子川小学校の思い出を胸に、こいのぼりを見上げていました。



遊子川小学校最後の運動会

◆遊子川っ子の健やかな成長を願って

小学校は閉校となりましたが、地域では子どもたちがあかるく、やさしく、たくましく成長していくことを願い、今年の5月、子どもたちが描いたこいのぼりを再び泳がせました。これからも、子どもたちが、自分で作ったこいのぼりの思い出を忘れず、ふるさと遊子川を愛し、成長することを願ってやみません。